

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果の公表について

山梨県県土整備部建築住宅課

建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づき、次のとおり公表します。

■学校

NO	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定等		備考
						内容	実施時期	
1	下吉田第一小学校 (教室・特別教室・管理棟)	富士吉田市 下吉田5222	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める 「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.03$ $C_{TU} \cdot S_D=0.78$			$I_{s0}=0.72$ $U=1.2$ として診断
2	富士見台中学校 (管理・教室棟)	富士吉田市 上暮地一丁目6-1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める 「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.06$ $C_{TU} \cdot S_D=0.51$			$I_{s0}=0.72$ $U=1.2$ として診断
3	白根巨摩中学校	南アルプス市 飯野2860-2	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める 「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.03$ $C_T \cdot S_D=0.61$			$I_{s0}=0.72$ として診断
4	竜王中学校	甲斐市篠原2030	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める 「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.56$			$I_{s0}=0.72$ $U=1.2$ として診断
5	竜王南小学校	甲斐市篠原1180	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める 「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.04$ $C_T \cdot S_D=0.73$			$I_{s0}=0.70$ として診断
6	石和南小学校 (管理・普通教室棟)	笛吹市石和町 市部720	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める 「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.06$ $C_T \cdot S_D=0.71$			$I_{s0}=0.72$ として診断
7	御坂西小学校 (管理・普通教室棟)	笛吹市御坂町 夏目原592-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める 「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.03$ $C_{TU} \cdot S_D=0.36$			$I_{s0}=0.72$ $U=1.2$ として診断
8	塩山南小学校 (北校舎)	甲州市塩山 上於曾1017	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める 「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.11$ $C_T \cdot S_D=0.87$			$I_{s0}=0.70$ として診断
9	勝沼中学校 (校舎)	甲州市勝沼町 勝沼761番地1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める 「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.10$ $C_{TU} \cdot S_D=0.80$			$I_{s0}=0.72$ $U=1.2$ として診断

■学校

NO	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定等		備考			
						内容	実施時期				
10	田富小学校	中央市布施2112	小学校	—	—	—	—				
	普通教室棟部分								$I_s/I_{s0}=1.15$ $C_T \cdot S_D=0.48$		$I_{s0}=0.80$ として診断
	昇降口棟部分								$I_s/I_{s0}=1.33$ $C_T \cdot S_D=1.13$		$I_{s0}=0.80$ として診断
	管理教室棟部分								$I_s/I_{s0}=1.00$ $C_T \cdot S_D=0.48$		$I_{s0}=0.80$ として診断
11	六郷小学校	西八代郡市川三郷町岩間2917	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.27$ $C_T \cdot S_D=0.60$			$I_{s0}=0.70$ として診断			
12	増穂中学校	南巨摩郡富士川町天神中條991番地1	中学校	—	—	—	—				
	棟番号1部分								$I_s/I_{s0}=1.03$		$I_{s0}=0.84$ として診断
	棟番号2部分								$I_s/I_{s0}=1.00$		$I_{s0}=0.84$ として診断

■病院

NO	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定等		備考
						内容	実施時期	
1	巨摩共立病院(本館)	南アルプス市桃園340	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.01$ $C_T \cdot S_D=0.31$			
2	韮崎市国民健康保険 韮崎市立病院(病棟)	韮崎市本町三丁目2327番地1他15筆	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)	鉄骨が充腹材の場合 $I_s/I_{s0}=1.00$ $C_T \cdot S_D=0.61$			

■ 集会場

NO	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定等		備考
						内容	実施時期	
1	山梨市民会館	山梨市万力1830	集会場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.76$			図書館部分あり $I_{s0}=0.70$ $U=1.17$ として診断
2	大月市民会館	大月市御太刀二丁目駒門766番地他	集会場	一般財団法人日本建築防災協会による「既鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1983年版)	$I_s/I_{s0}=1.06$			
3	甲州市民文化会館	甲州市塩山上塩後240	集会場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.14$ $C_{TU} \cdot S_D=0.88$			$I_{s0}=0.70$ $U=1.17$ として診断

■ 物品販売業を営む店舗

NO	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定等		備考
						内容	実施時期	
1	イオン大月店	大月市御太刀一丁目穴原982	物品販売業を営む店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.21$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$			
2	富士急ターミナルビル	富士吉田市上吉田2-5-1	物品販売業を営む店舗	—	—	—	—	
	1階から7階部分			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.62$			
	塔屋部分				$I_s/I_{s0}=2.43$ $C_{TU} \cdot S_D=1.50$			
	6階事務棟部分			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s=0.90$ $q=1.09$			
	6階店舗部分			$I_s=0.94$ $q=1.07$				

■ホテル

NO	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定等		備考				
						内容	実施時期					
1	ホテルマウント富士 (中央棟)	南都留郡山中湖村 山中1360-83	ホテル	—	—	—	—					
	中央棟部分								一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める 「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.03$ $C_{TU} \cdot S_D=0.64$		
	エレベーター 塔屋部分									$I_s/I_{s0}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.62$		

■危険物の貯蔵場の用途に供する建築物

NO	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定等		備考
						内容	実施時期	
1	サントリースピリッツ(株) 白州蒸留所 (東蒸留所)	北杜市白州町 鳥原字向林2913-1	工場	一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める 「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.82$ $C_{TU} \cdot S_D=1.09$			
				一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s=0.67$ $q=1.56$			

○附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
	I	II	III
一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1977年版)	$I_s / I_{s0} < 0.5$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s / I_{s0}$
一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	$I_s / I_{s0} < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s / I_{s0}$ かつ $0.3 \leq C_T \cdot S_D \leq 1.25$
			$1.25 < C_T \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s / I_{s0} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s / I_{s0}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1983年版)	$I_s / I_{s0} < 0.5$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s / I_{s0}$
一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める 「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)	鉄骨が充腹材の場合	$I_s / I_{s0} < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot G \cdot U$	$1.0 \leq I_s / I_{s0}$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_T \cdot S_D$
	鉄骨が非充腹材の場合	$I_s / I_{s0} < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.14 \cdot Z \cdot G \cdot U$	$1.0 \leq I_s / I_{s0}$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_T \cdot S_D$

構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性

- I : 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
 - II : 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
 - III : 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
- (※) 震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。

いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

- (※) 備考に記入のない場合は、 $I_{s0}=0.6$ 、 $Z=1.0$ 、 $G=1.0$ 、 $U=1.0$ とする。